

DKR 中間樹脂ギヤ 交換方法

アルスコポーレーション株式会社

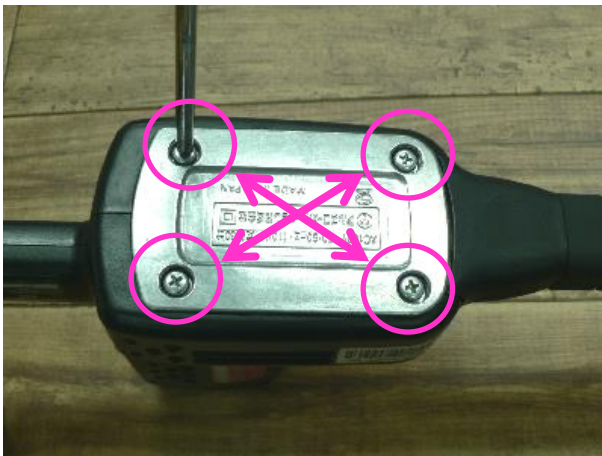
2014年1月8日更新

<用意するもの>

- ・プラスドライバー
- ・マイナスドライバー
- ・軍手

<交換手順>

※ご注意※ 取り外したネジやワッシャー、各部品は紛失しないようにご注意ください。

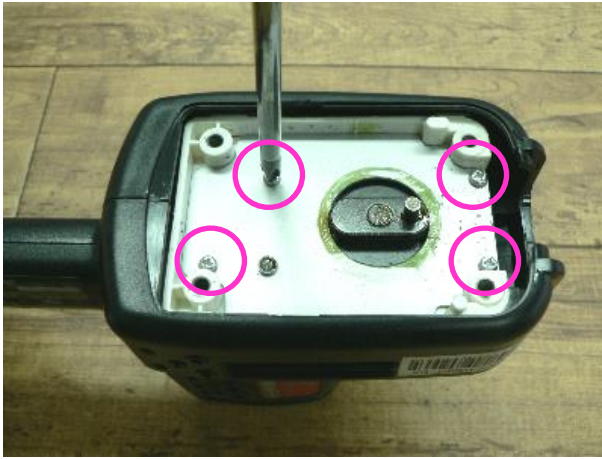


1. 底板ネジを取り外し、モーター部とパイプ・刃部に分ける

底板ネジを取り外します(4本)。

※プラスドライバー





2.ギヤケースフタを取り外す

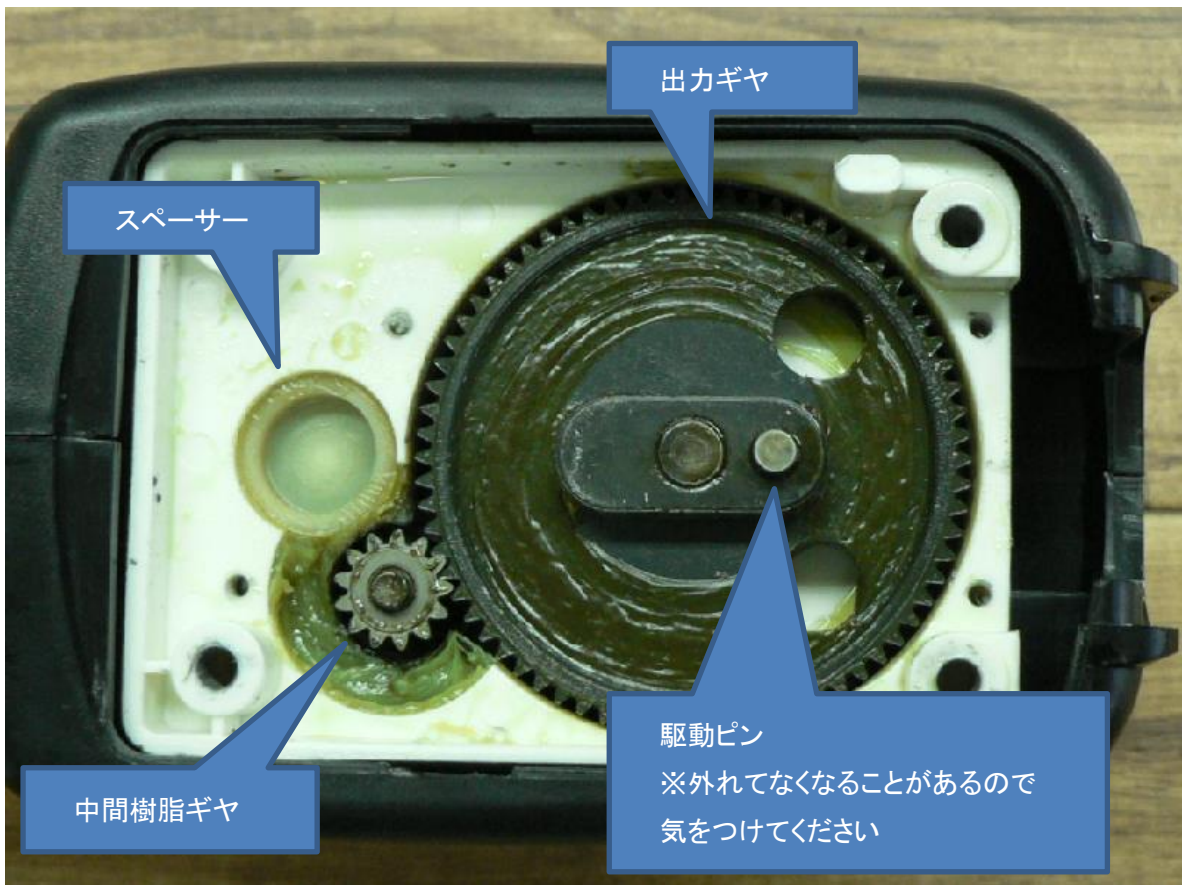
ギヤケースフタのネジを取り外します(4本)。

※プラスドライバー



マイナスドライバーなどを使用し、ギヤケースフタを持ち上げ、取り外します。

▼ギヤケース内部 各部品名





3.出力ギヤを取り外す

出力ギヤを取り外します。



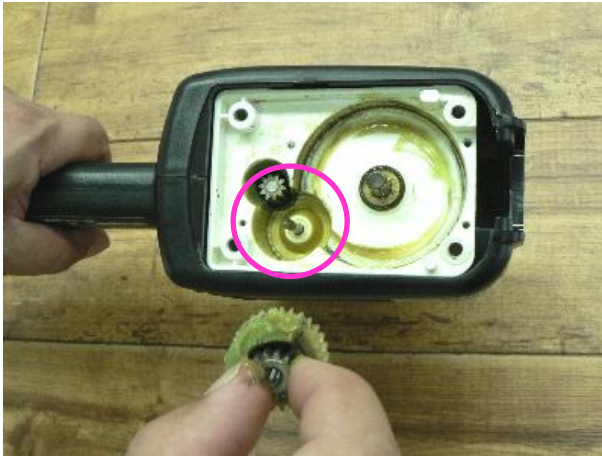
出力ギヤとギヤケースの間には、ワッシャーが入っています。写真では、出力ギヤ側について外れていますが、ギヤケース側に残る場合もあります。そのときは、古いグリスの拭き取りの際に、誤って一緒に捨ててしまう可能性がありますので、捨ててしまわないように気を付けてください。



4.スペーサーを取り外す

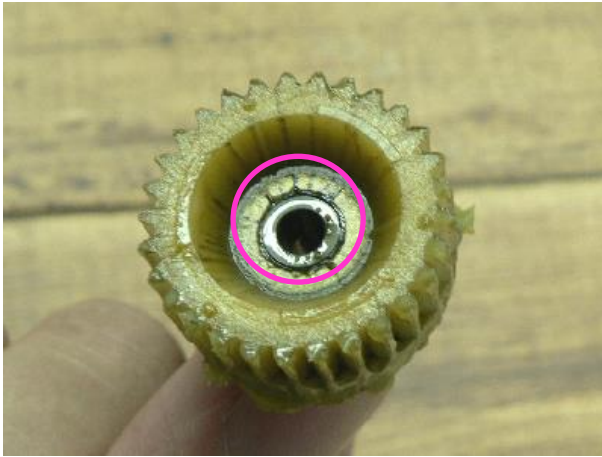
マイナスドライバーなどを使用し、スペーサーを取り外します。





5. 中間樹脂ギヤを取り外す

中間樹脂ギヤを取り外します。



出力ギヤ同様、中間樹脂ギヤとギヤケースの間にも、ワッシャーが入っています。写真では、中間樹脂ギヤ側について外れていますが、ギヤケース側に残る場合もあります。新しい中間樹脂ギヤには新しいワッシャーがセットになっていますので、ワッシャーが2枚入ってしまわないように気を付けてください。



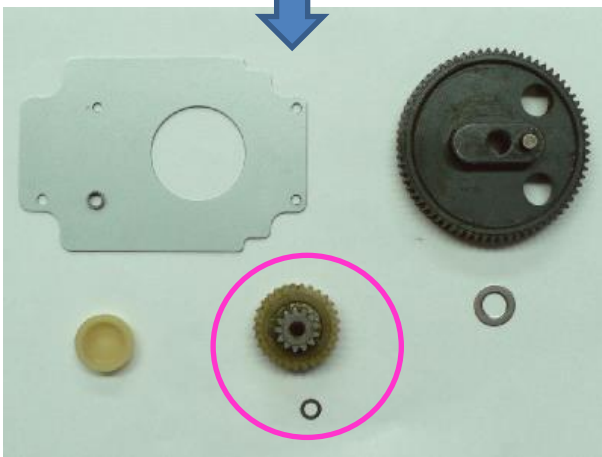
6. 古いグリスを拭き取る

古いグリスをできるだけきれいに拭き取ってください。古いグリスには、鉄粉などが混ざり込んでいるため、ギヤの摩耗を早める原因となります。





取外した、各部品についても同様に古いグリスをできるだけきれいに拭き取ってください。



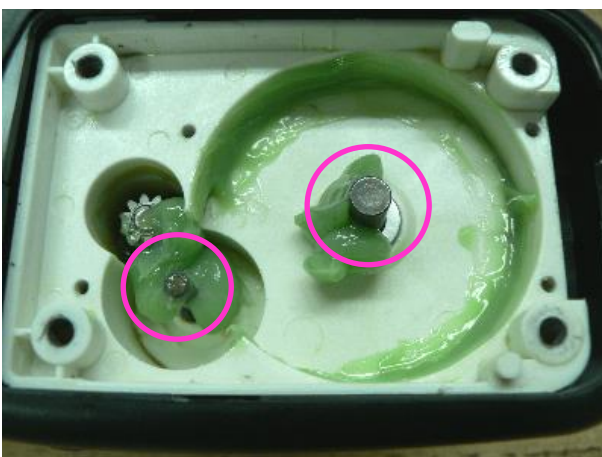
※中間樹脂ギヤと中間樹脂ギヤに取り付けるワッシャーは新しいものに交換してください。



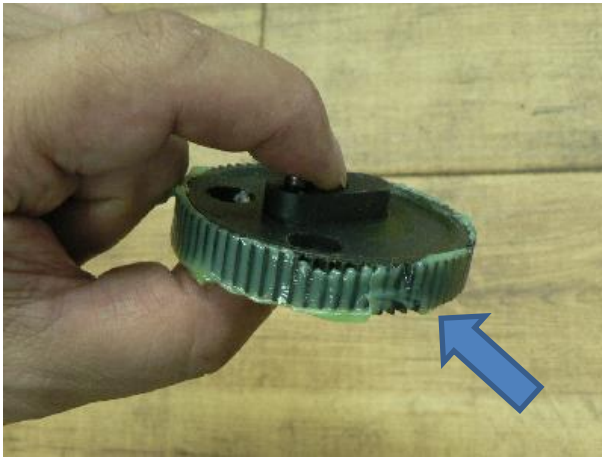
7.新しいグリスを塗りつける

※グリスは全体で 10g 程度の塗り付けをします。中間樹脂ギヤに添付の専用グリスは 10g 入りです。グリスを塗布する工程は「7」と「10」です。

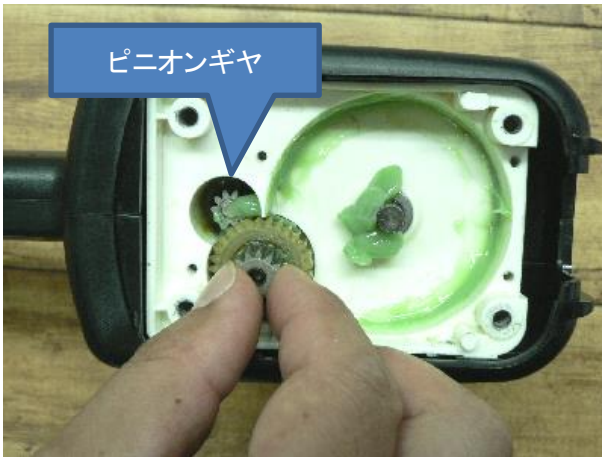
ギヤケースに新しいグリスを塗りつけてください。



特に軸周り(2箇所)に多めに塗ってください。



ギヤ部品(出力ギヤ・中間樹脂ギヤ)の側面にもグリスを塗布してください。



8.新しい中間樹脂ギヤを取り付ける

新しい中間樹脂ギヤを取り付けます。

ピニオンギヤと中間樹脂ギヤの歯車が沿うように、少しずつ回しながら沿う位置を探して入れてください。



9.出力ギヤを取り付ける

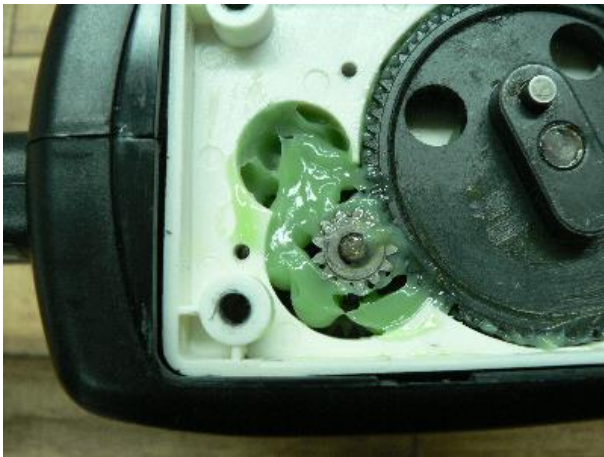
出力ギヤを取り付けます。

中間樹脂ギヤと同様、中間樹脂ギヤと出力ギヤの歯車が沿うように、少しずつ回しながら沿う位置を探して入れてください。



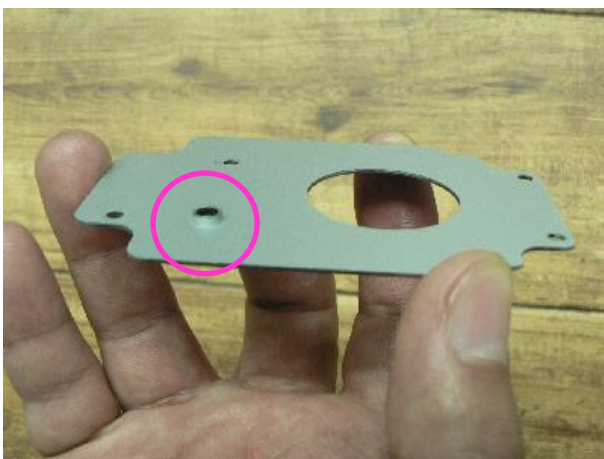
10.ピニオンギヤ・中間樹脂ギヤの周りにグリスを追加する

ピニオンギヤ・中間樹脂ギヤの周りにグリスを追加します。



11. スペースを取り付ける

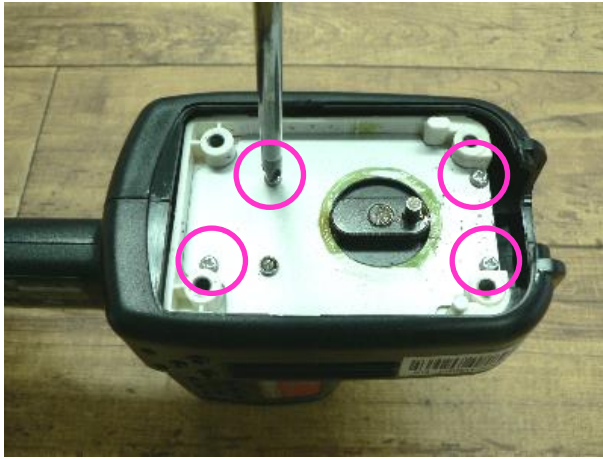
スペースを取り付けます。スペースは押し込むのみです。



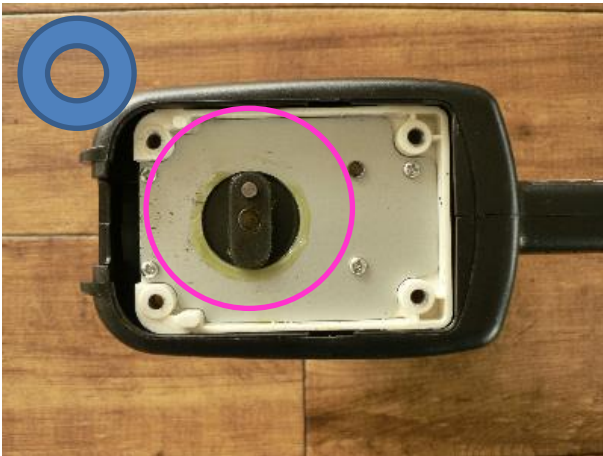
12. ギヤケースフタを取り付ける

ギヤケースフタは、出っ張っているほうが外側(底板側)になります。



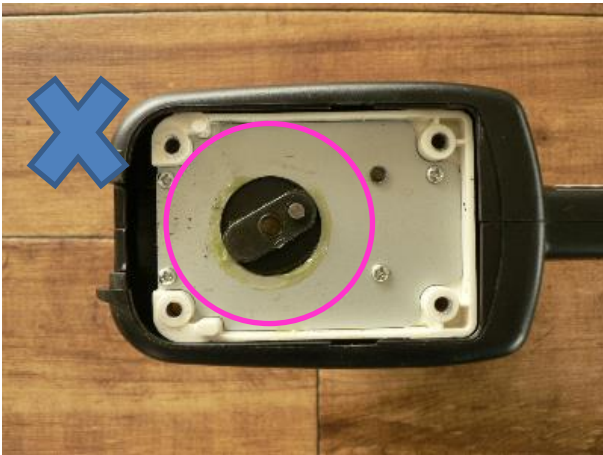


ギヤケースフタのネジを取り付けます(4本)。
※プラスドライバー



13. パイプ・刃部とモーター部を取り付ける

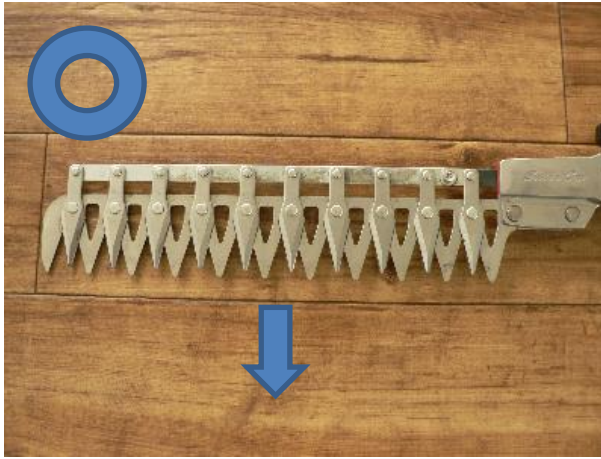
まず、モーター側の駆動部を写真のような位置に合わせてください。



× 良くない位置



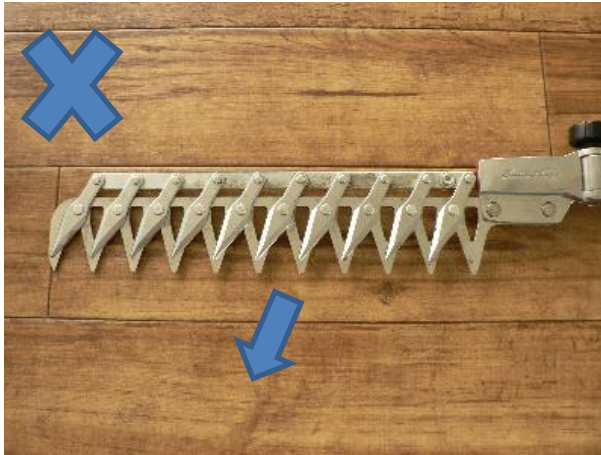
板ロッド棒の横穴に、駆動部のピンが入ることになります。



次に可動刃の位置を写真のような位置に合わせてください。

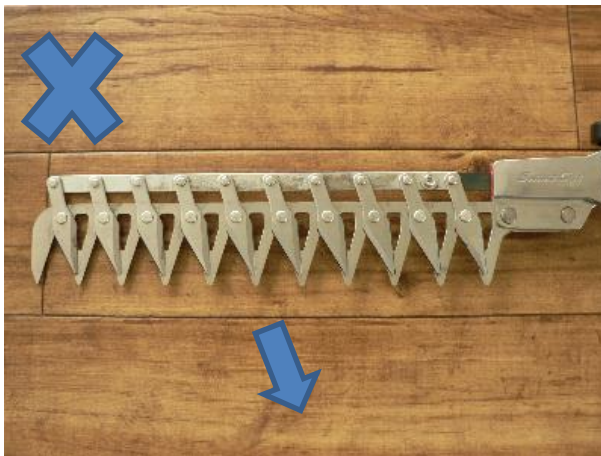
○ 良い位置

可動刃が固定刃の真ん中にあります。



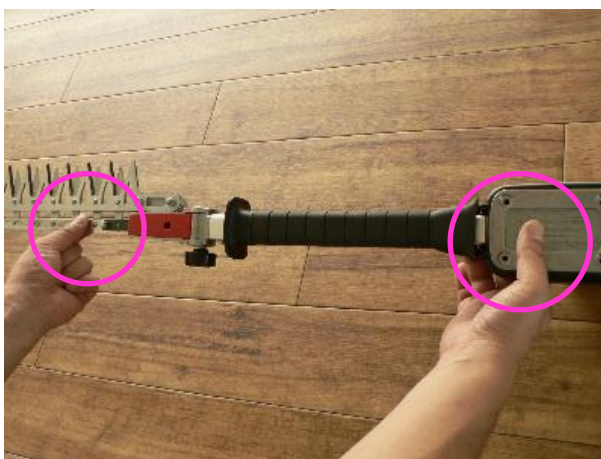
× 良い位置①

可動刃が刃先側を向いています。



× 良い位置②

可動刃がモーター側を向いています。



9. パイプ・刃部とモーター部を取り付ける

底板部をモーター部に軽く乗せ、可動刃を少し前後させると、板ロッド棒の横穴と、駆動部のピンがはまります。



正しくはまっている場合、写真のように底板がグリップ本体にすき間なく接しています。



正しくはまっていない場合、写真のように底板が浮いたようになります。

正しくはまっていない場合は、駆動部と可動刃の位置を調整し、改めてセットし直してください。



10. 底板ネジを取り付ける

底板ネジを取り付けます(4本)。

※取付け時は、対角線上に順に締め付けるようにしてください。

※プラスドライバー

交換作業後は必ず動作確認を行ってください。

異音がなく、スムーズに作動するかどうかをご確認いただき、
問題がなければ交換作業は完了です。

異音が生じたり、スムーズに作動しない場合は、
交換作業をもう一度やり直していただくか、
原因がわからない場合には、弊社までお問合せください。

●お客さまサービス係:0120-833-202

(月～金 9:00～12:00/13:00～17:00 ※祝日を除く)